

令和元年度 石川県教育委員会優良公民館表彰を受賞して

## 温故知新「納涼盆踊り大会とSDGsを含む新しい取り組み」

### 羽咋市立粟ノ保公民館

#### 1. 羽咋市及び粟ノ保地区の概要

羽咋市人口

20,913人

(令和3年2月1日現在)

年齢別人口

65才以上 8,353人

高齢化率 39.9%

(65～74才 3,897人 18.6%)

(75才以上 4,456人 21.3%)

市立公民館 10館プラス1分館

粟ノ保公民館

町会数 6

地区人口 2,081人

世帯数 815

粟ノ保地区は大正時代末に小学校で始められ、以後能登地区や県大会で何度も優勝を果たしたというバスケットボールの町として知られ、平成時代に入っても、小学生のミニバスケットボールが盛んであった。が、近年、児童数減も

あり、単独チーム編成が難しく羽咋小学校との合同チームで伝統を引き継いでいる。

また、地区の西側は千里浜海岸

に接し、砂丘地の農業としてスイカ・アスパラガス・大根そしてルビーロマンに代表されるブドウ作りも盛んである。

2. 公民館の概要

建物設置

敷地 647.1㎡ (約190坪)

建物 木造2階建て

職員の状況 館長(会計年度任用)、

主事1名(会計年度任用)

主な教室

リズム運動・ダンス、筋トレ、

笑いヨガ&骨盤体操、卓球、ウ

オーキング、着物リメイク、パッ

チワーク、編み物、ウクレレ、

英語

3. 特色ある公民館活動

羽咋市制15周年を記念して19

73年(昭和48)年8月に制定さ

れた市民憲章に基づき、地域活動

の中核となるべく多面的な活動を行

っている。

最も大きな事業は2015(平



名称 羽咋市立粟ノ保公民館  
所在地 羽咋市兵庫町夕46番地

成27)年に23年振りに復活させた納涼盆踊り大会である。青年団を中心とし、町会、各種団体からなる実行委員会は地域活性化にも貢献している。コロナ禍の今年も、校下の粟ノ保小学校の生徒と保護者を主な参加対象として納涼火花大会を開催し、好評であった。

また、環境問題に関しては、地域内の長者川・志雄川及び貯水池の生き物調査、千里浜のクリーン運動等に以前から取り組んでいるので、地球環境の改善目標として国際連合が定めたSDGsをどうこれらに協働させるかが新しい目標である。小・中学生と父兄を含



む三世代が、千里浜（塵浜）のゴミ回収体験、気候変動が与えている地元の農業への影響等をSDGsゲームを通して学ぶことから始めるのが近道かもしれない。国連が当面の目標とする2030年には、今の小・中学生に澁淵とした地域の活力源となってもらいたい。だから、今年に残念ながらもまだ実施できていない。

#### 4. 活動の成果と今後の課題

町会、各種団体の世話役が固定化し、一部の人たちに負担がかかり過ぎている。また、全体的に見ても、町会毎に各種行事への関わり方に偏りが見られ、特定の町会に負担がかかり過ぎてるように思われる。

新しい移住者やUターン者もいるので、高齢者への配慮のみならず、青壮年層のニーズを汲み上げる努力が一層必要であろう。とくに、男性には各種行事への参加を、女性には参加に加えて、会長・副会長等のリーダー役をも期待したい。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



- 1 貧困をなくそう
- 2 飢餓をゼロに
- 3 すべての人に健康と福祉を
- 4 質の高い教育をみんなに
- 5 ジェンダー平等を実現しよう
- 6 安全な水とトイレを世界中に
- 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- 8 働きがいも経済成長も
- 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 10 人や国の不平等をなくそう
- 11 住み続けられるまちづくりを
- 12 つくる責任 つかう責任
- 13 気候変動に具体的な対策を
- 14 海の豊かさを守ろう
- 15 陸の豊かさを守ろう
- 16 平和と公正をすべての人に
- 17 パートナーシップで目標を達成しよう